

西宮市議会議員

まさたけ

田中正剛

(自由民主党所属)

<http://masatake.jp/>

まさたけ

検索

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

批判ばかりでは何も生まれない。西宮の将来を創るための提案を。

およそ3年に及ぶ集中的な議論と検討を経て、

西宮市議会は、3月に「アサヒビールの跡地購入に関する予算」を可決しました。

しかし、先の西宮市長選挙では、その議論と検討の結果が否定される結果となりました。

暮らしたい街として選ばれ続ける「文教住宅都市・西宮」の未来のために、

建設的な議論をし、確実に実行するという、あるべき市政の姿が今まさに問われています。

政策のゆくえ

アサヒビール跡地のまちづくり計画は、代替案が示されないまま白紙か？

先の西宮市長選挙の結果を受け、跡地購入は見直されることになります。しかし、購入計画がやみくもに否定されるだけで、代替案が全く示されていません。市がこの土地を購入せずに、どのようにまちづくりを誘導できるのか不透明です。当該エリアは最も建設規制が緩やかで、工場でも大規模集合住宅でもパチンコ店でも建設可能です。これまでのような民間主導による住宅開発では、児童急増が予想され、新たな学校が必要となれば、別途、公共事業が必要になる可能性も

あります（右下の事業概要参照）。また、計画していた公共事業の大半は、廃止にしない限り、いずれ必要になるものばかりです（下左表の太枠部参照）し、この事業のための代替地も別途必要となります。つまり、今回の白紙撤回は、課題を先送りにするだけなのです。

現在の基本協定の有効期限は、本年7月31日です。土地を購入したうえで計画を追考するなど、将来の西宮を創るために、議会で集中的に議論をする必要があります。

■アサヒビール跡地に計画されていた概要

計画されていた施設	用地費	建設費等	総事業費
多目的・防災公園	18.1億円	4.4億円	22.5億円
中央病院	18.1億円	102.6億円	120.7億円
西宮消防署	5.4億円	21.6億円	27.0億円
中央体育館	18.1億円	60.5億円	78.6億円
共用駐車場	9.1億円	4.5億円	13.6億円
合計	68.8億円	193.6億円	262.4億円

■高木小学校区に新設される小学校の事業概要

開校予定…平成28年4月、敷地面積…1万1100㎡

児童数見込み…564～613名、普通教室数…24

総事業費概算…約61.8億円

(内訳) 用地取得費…約30.5億円、工事費…約28.3億円

その他経費…約3億円

提言を実現へ

—文教住宅都市・西宮の良好な住環境を守り、次世代に引き継いでいくための政策を—
この理念に基づいて政策を常に提言し、これまでにその多くが取り入れられてきました。10年先を見据えた政策を展開するために、批判だけではなく、実行力を伴う提言をこれからも続けていきます。

—平成26年度予算より—

■子育て・教育環境の向上

○留守家庭児童対策施設整備事業
(安井育成センター建替え:約1億600万円、
第46小学校新設育成センター:約1100万円)

待機児童対策に追われ、施設の老朽化対策にまで手が回っていないという問題点を本会議で指摘し、ようやく対策が始まりました。保育所の高い需要を鑑みると、学童保育もますます需要が増すと予想されます。民間学童保育の活用も視野に入れて、計画的に対応する体制が必要です。

○基礎学力向上事業(学力調査の活用)
(学力調査委託料:約2800万円)

今年度は、学力調査の結果に応じた各学校での取り組みとその成果がまとめられる年です。報告書の作成は、現在のところ3年に1度となっていますが、学校別の取り組みを毎年公表し、成果を年度ごとにまとめるべきであると主張しています。

○学校施設空調設備整備事業
(予算:約3億9000万円)

平成26年度で全中学校の空調設備の設置が完了します。小学校の整備も始まり、今年度は、安井、香櫨園、今津、名塩小の4校が他校に先行して実施されます。

財政改革

10年前の予算と比較すると、着実に財政は健全化しています。

10年前の財政は危機的な状況でした。子どもの世代まで「負の遺産」を先送りしてはいけないとの思いから、初当選直後より一貫して財政改革に力を入れ、政策提言を続けてきました。右表のとおり、借金は900億円減少、貯金は160億円増加し、予算の内訳も随分と変化しました。しかし、学校等公共施設や道路など、インフラの老朽化対策や必要な補修が先送りにされており、この問題を放置すれば、コンクリートの剥落や道

■スポーツによるまちづくり

○「(仮称)スポーツボード」の設立準備、「にしのみやスポーツフェスタ」の開催
(予算:400万円)



本年3月にスポーツ推進計画が完成し、スポーツ政策が示されました。これまで私が議会で必要性を指摘してきたことがようやく始動しつつあります。しかし、今回の計画は、①多様なスポーツ資源を有する西宮市の特性が反映できていない、②具体的な数値目標が不足しているなど、改良すべき点が多数あります。今年度は大学や企業と連携する共同体「(仮称)スポーツボード」を設立する予定です。多様なスポーツ資源を活用して、子供たちの健全な育成、成人の健康増進、高齢者の介護予防に活かせるよう、今後も具体的に提言してまいります。

○アイススケートリンク利用促進事業
(予算:200万円)

民間主導(兵庫県スケート連盟)で、鳴尾浜に県内唯一の通年型のスケートリンクがオープンしました。特に、子供たちに多様な機会を提供することは情操教育の観点から大変重要です。

路の陥没など、市民が危険にさらされる恐れがあります。また、利用者の負担金で事業が実施されている水道や下水道事業は、負担増につながる可能性もあります。これらの問題に計画的に対応できるよう、財源を確保できる財政構造へと変革しなければなりません。 また、今後の超高齢社会への備えとして、地域包括ケアの体制の構築とともに、その財源確保も急務であることから、一層の財政改革が必要なのです。

■安心・安全のまちづくり

○防災マップ更新事業
(予算:約4000万円)

平成23年12月議会において、防災マップの更新とマニュアルを配布するよう提言しました。災害に対する備えは、迅速な対応が必要です。

○通学路安全対策事業
(予算:約9600万円)

平成23年12月議会で提言した事項が取り入れられました。歩道の設置が物理的に難しいとされる通学路には、カラー舗装や側溝のふた掛けをするなど、暫定的な安全対策を提言しています。この安全対策の効果について、今後も追って検証を続けていきます。

■場当たりのな行政運営からの脱却

○公共施設マネジメント事業
(予算:約500万円)

インフラの維持管理に本格的に取り組むべき時代となりました。平成18年6月に市議会でいち早く提案した公共施設マネジメントは、当時は理解してもらえませんでした。他の自治体を視察し、具体的な仕組みを理解してもらえるよう資料も作成して議場で配布し議論するなど、その必要性を訴えてきました。取り組みは始まりましたが、未だ具体的

■予算で見る財政状況の変化

一般会計			平成16年度	比率
予算総額			1683億円	—
主な歳入	市税収入		773億円	45.9%
	起債(新規借金)		235億円	13.9%
主な歳出	消費的経費	人件費	364億円	21.6%
		扶助費	230億円	13.7%
	投資的経費		100億円	5.9%
	公債費(借金返済)		433億円	25.7%
市債残高(借金)		2482億円		
財政基金(貯金)		0円		

な計画策定や財源確保には至っていません。公共施設の老朽化対策は待ったなしの状況です。具体的なアセットマネジメント計画を策定し、着実に事業を実施できるよう財源を確保すべきと主張しています。

○公共施設中長期修繕計画事業
(予算:約3億7000万円)

○学校施設中長期修繕計画事業
(予算:1億円)

○舗装補修事業
(予算:3900万円)

○道路付属施設／道路照明灯更新事業
(予算:それぞれ約3800万円)

■その他

○西宮浜・御前浜周辺整備計画
(予算:約3100万円)

御前浜は文教住宅都市の原点といっても過言ではありません。西宮に残された貴重な自然浜を守り、次世代に引き継いでいくための政策が必要です。地元住民や保全活動団体、利用者の方々の声を反映し、西宮砲台の保存管理計画とも整合した効果的な整備計画を策定する必要性を主張しています。

平成26年度	比率
1678億円	—
837億円	49.9%
131億円	7.8%
338億円	20.1%
439億円	26.1%
132億円	7.9%
192億円	11.4%
1581億円	
164億円	

※用語説明

○財政基金
経済不況等による大幅な税収減や、災害などの不測の事態に備えて、財源に余裕がある年度に積み立てておくもの

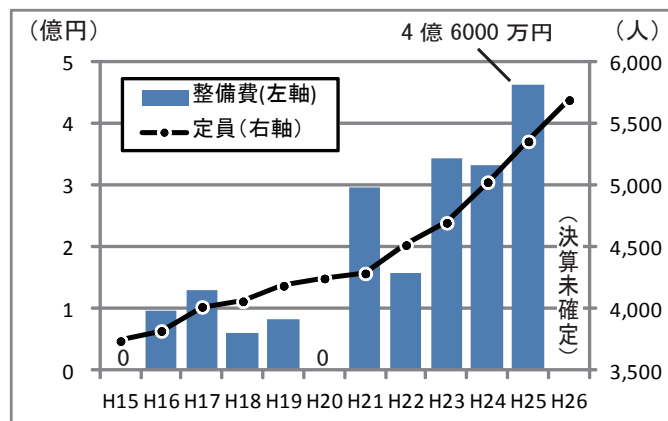
○扶助費
社会保障制度の一環として、高齢福祉、障がい者福祉、児童福祉などのために、現金・物品を問わず、対象者に対して支給される経費

保育所の待機児童対策や幼稚園の公私間格差の是正は着実に進行中。 今年は、子ども・子育て支援新制度への移行準備が大詰めを迎えます。

子育て環境の向上と幼児教育の重要性を一貫して主張し、幼稚園の保護者負担及び公金投入額の公私間格差の是正を訴え続けてきました。幼稚園無償化を目指す自民党が政権与党となり、国の政策により今年度から支給対象が大きく広がりました。その結果、私立幼稚園就園奨励助成金の予算は、昨年比で2億円増加の9億1500万円となりました。

待機児童対策も、保育所の定員を増加し、保育ルーム（定員5名以下）も活用した結果、厚生労働省が定める4月時点の待機児童は2年連続でゼロとなりました（下図参照）。しかし、

■近年の待機児童対策事業経費と定員

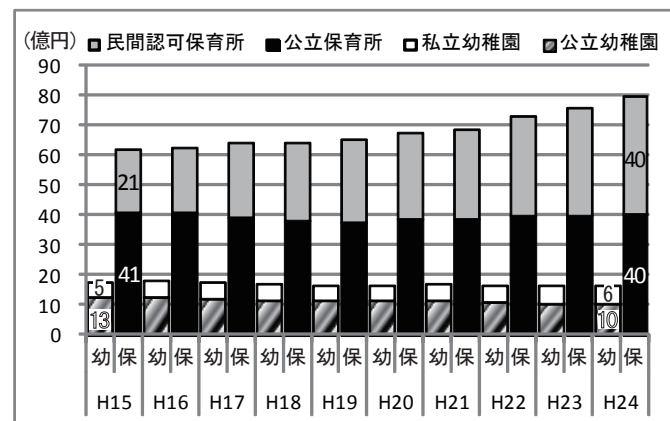


平成22年から4年間で、定員が1000名以上の増加しました。

まだまだ潜在的な待機児童は存在しています。新年度は保育ルームに加えて小規模保育所（定員15名以下）も活用するなど、さらに受け入れ定員を増加するために約14億5000万円の予算が計上されています。

また、来年4月からは、「子ども・子育て支援新制度」へ移行されるため、幼稚園、保育所、認定こども園の保育料の仕組みなど、子育て支援制度が大きく変わります。今夏に説明会が開催されますので、保護者の皆様はぜひご注目ください。今後も引き続き、子育て・教育環境の向上に向けて取り組んでまいります。

■幼稚園と保育所の運営経費の推移



※私立幼稚園の経費は補助金と就園奨励助成金の合計

西宮市議会副議長に就任しました。

6月議会での役職選挙の結果、西宮市議会副議長に就任することになりました。3期目の任期の最後の年に重責を担うこととなり、身の引き締まる思いをしております。現在も、議会改革を続けている中で、議論を一層活発に行える議会の環境づくりに少しでも貢献できるよう努めてまいります。

発行責任者

田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務/平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選（27歳）

■政党：自由民主党 ■現在の担当常任委員会：建設常任委員会 ■市議会での主な役職：建設常任委員会副委員長（1期2年目）、厚生常任委員会委員長（1期3年目）、西宮市監査委員（2期1年目）、フレンテ問題特別委員会委員長（2期3・4年目）、病院問題特別委員会委員長（3期1・2年目）、阪神水道企業団監査委員（3期3年目）、副議長（3期4年目）

ご意見・ご要望・資料のご請求は

西宮市議会議員

田中 正剛 事務所

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階
（兵庫県西宮庁舎南向かい）

TEL：0798-22-5172

FAX：0798-22-6172

E-mail：nishinomiya@masatake.jp

URL：http://www.masatake.jp

